

<p>タイトル</p>	<p>2022年度 共同教育学部国語専攻「学校推薦型選抜」</p>
<p>評価の ポイント</p>	<p>【小論文】</p> <p>筆者の見解に対して、自分の考えを具体的に述べることを求めた。課題の理解力・論理的な思考力・文章表現力などに加え、筆者の言うところの「気になる言葉」に対して、どのような具体例を提示できるか、その柔軟な発想力も評価の対象とした。</p> <p>評価にあたっては、以下の点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文の内容をよく理解し、設問意図に沿った解答ができているか。 ・問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。 ・解答の記述に当たって正しい論理の運びができているか。 ・解答の論旨が明快であるか。 ・適切な表現ができているか。誤字・脱字はないか。文章に乱れはないか。 ・制限字数を満たしているか。極端に短い答案になっていないか。 <p>池上彰『伝える力2 もっと役立つ! 「話す」「書く」「聞く」技術』 PHPビジネス新書・2012年、188—190頁</p> <p>【面接】</p> <p>良く知られた「おとぎ話」の原典に当たる文学作品を音読させ、それに関する問題を話題として取り上げながら、質問に対する返答内容の的確さや表現の適切さ等を評価した。</p> <p>評価にあたっては、以下の二点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問をよく理解した上で返答しているか。 ・高等学校までの国語の知識を十分に備えているか。 <p>【小論文解答例】</p> <p>筆者は「気になる言葉」として括っているが、「ヤバイ」と「情けは人のためならず」とは、やや性格が異なると思われる。前者を「素敵な」というようなプラス価値の評価として用いることは、若い世代を中心にかなり多く認められる現象であり、また中高年層にも「若者言葉」として認知されている表現である。対して後者を「情けをかけるのはその人のためにならない」の意で用いることは、現状ではいまだ誤用の域を出ないと言えるからである。これに比べると、「煮詰まる」と「行き詰まる」を混同することは、『日本国語大辞典 第二版』が③としてその意を載せている事実を参照すると、いわゆる「市民権」を得つつある誤用という点で、「ヤバイ」に近いと言えるだろう。</p> <p>「その使い方、間違いじゃないかな」と思われる言葉であっても、星野リ</p>

ゾートの例のように意識的に用いることで、人目を惹く表現ともなり得るであろう。たとえば最近よく耳にする「一ミリも思わない」とか、「秒でわかる」とかの表現なども、「ほんのわずか」「すぐに」という言い方よりも強烈なイメージを喚起する力を有する「新しい表現」として、可能性を秘めた「気になる言葉」ではあるまいか。(526字)